

## 令和元年度健全化判断比率等の状況(三島市)(資料編)

### 1 実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①と②の合算額 2.8億円

【早期健全化基準の算定】

$$\left\{ \frac{(21,193,330千円 + 100,000,000千円)}{120 \times 21,193,330千円} \times 100 + 20 \right\} \div 2 = 12.38\%$$

各会計実質収支額・剰余額

会計名	実質収支額・剰余額(千円)
① 一般会計	265,740
② 墓園事業特別会計	12,399
③ 国民健康保険特別会計	98,640
④ 介護保険特別会計	149,420
⑤ 後期高齢者医療特別会計	6,005
⑥ 駐車場事業特別会計	4,595
⑦ 水道事業会計	1,408,606
⑧ 下水道事業会計	55,838

### 2 連結実質赤字比率

対象会計に赤字額は発生していない。

【黒字額の算定】①～⑧までの合算額 20.0億円

【早期健全化基準の算定】

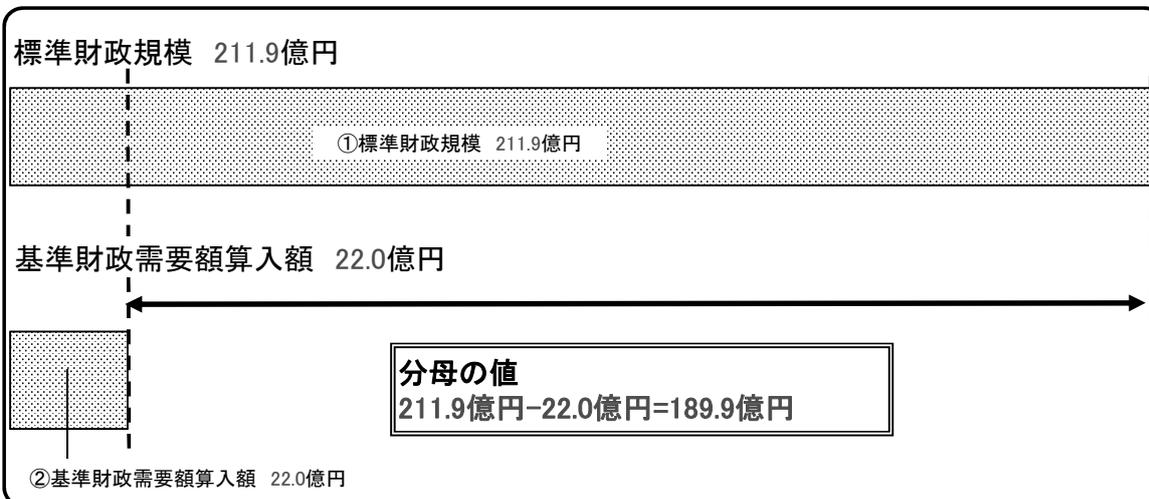
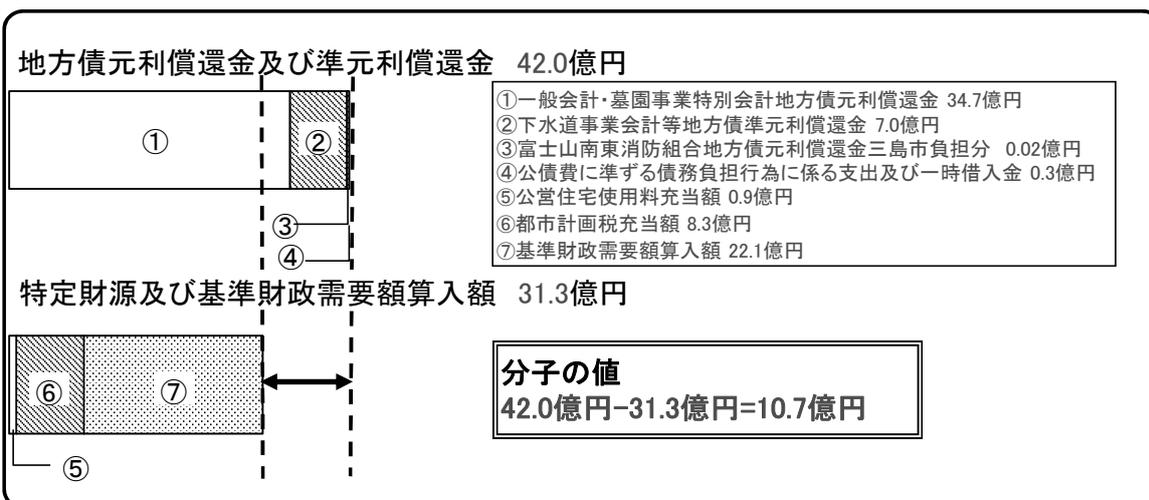
$$12.38 + 5.0 = 17.38\%$$

### 3 実質公債費比率

$$\frac{5.38662(\text{H29単年}) + 4.84324(\text{H30単年}) + 5.63604(\text{R01単年})}{3} = 5.2\% \quad \text{小数点以下第2位切り捨て}$$

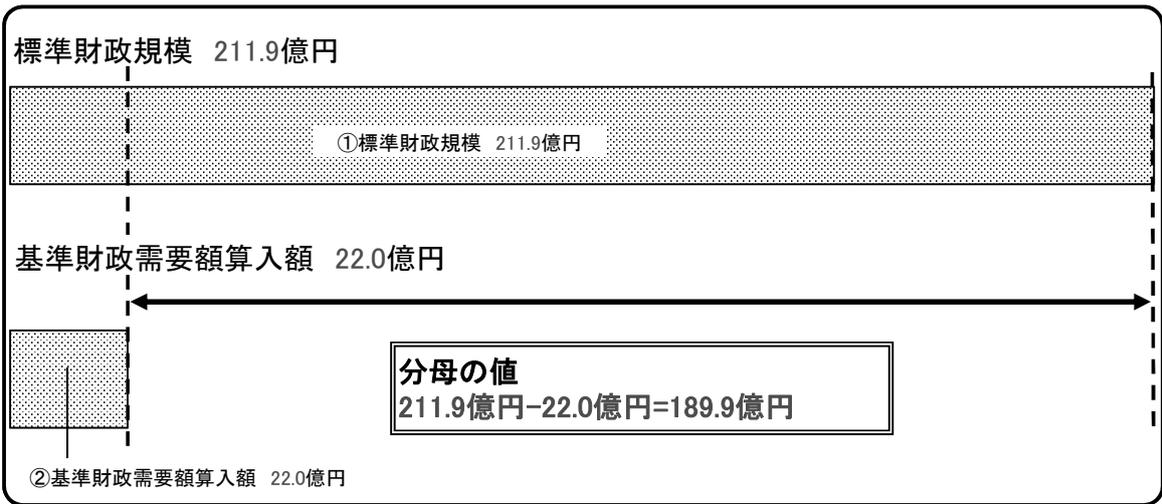
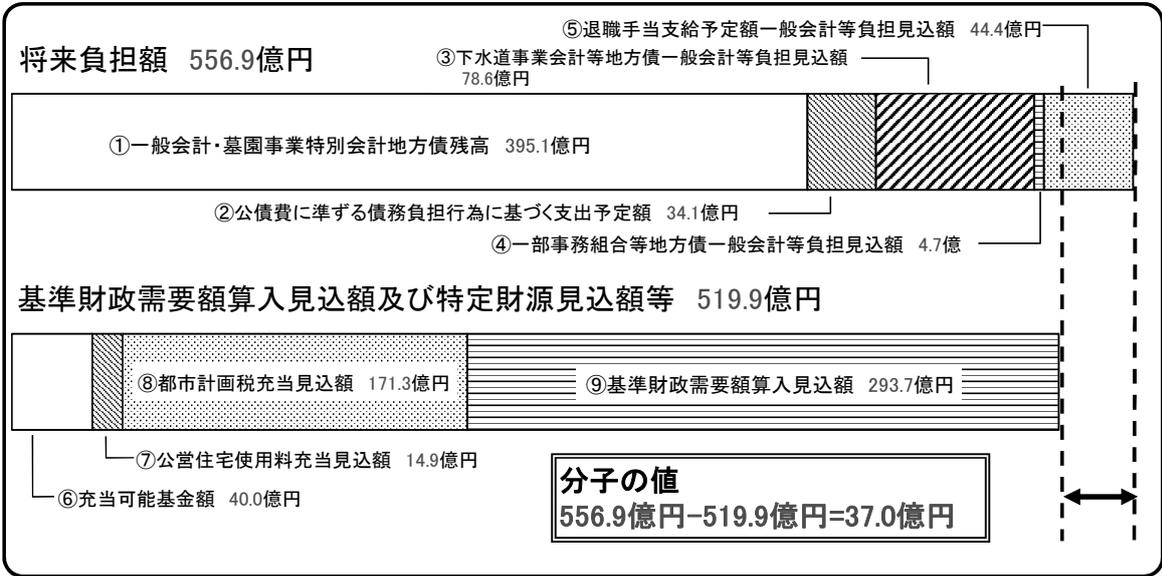
【令和元年度単年度の詳細】

$$\frac{10.7\text{億円}(1,070,149千円)}{189.9\text{億円}(18,987,597千円)} \times 100 = 5.63604$$



4 将来負担比率

$$\frac{37.0 \text{ 億円}}{189.9 \text{ 億円}} \times 100 = 19.4\% \quad \text{小数点以下第2位切り捨て}$$



5 資金不足比率

対象会計に赤字額は発生していない。

※「1 実質赤字比率」及び「2 連結実質赤字比率」における表「各会計実質収支額・剰余額」参照 ⑦～⑧